

平成 30 年 10 月 10 日

報道機関 各位

第10回「人文知」コレギウム

中澤敦夫教授ドミートリイ・リハチョフ賞受賞記念講演

富山大学人文学部は、学部教員による研究会「人文知」コレギウムを定期的で開催しております。富山県の「人文知」の拠点として、人文研究のさらなる高みを目指して、様々な分野の教員が集い、相互に研究交流を図ります（※「コレギウム」は「仲間たちの集い」という意味）。

来る10月24日（水）はその第10回目となります。今回は、中澤敦夫教授が日本人としては初のドミートリイ・リハチョフ賞を受賞したことを記念した特別企画となります。ドミートリイ・リハチョフは古代ロシア文学の第一人者であっただけでなく、ソ連崩壊後は《ロシアの良心》的存在として大きな社会的影響力を持っていた学者です。

今回のテーマは、「文献と図像から読み解く、ロシア人の伝統的『あの世』観」です（詳細については、別添チラシをご参照ください）。

なお、本研究会は、一般の方や学生の聴講も可能です（無料・事前申込不要、ただし、ウェブでの申し込みも <http://www.diversitylounge.jp/collegium/postmail.html>）。

当日の取材・報道方、よろしくお取り計らい願います。

【本件に関する問い合わせ先】
富山大学 人文学部総務課
TEL. 076-445-6131

一般の方の聴講歓迎・
事前申し込み不要・無料



Arkhangelsk Regional Museum of Fine Arts

富山大学人文学部富山循環型「人文知」研究プロジェクト公開研究交流会

第10回「人文知」コレギウム

中澤敦夫教授ドミートリイ・リハチョフ賞受賞記念講演

「文献と図像から読み解く、 ロシア人の伝統的『あの世』観」



2018年10月24日(水) 13:30～15:30

富山大学人文学部1階大会議室

中澤敦夫教授（ロシア言語文化）が、ロシア文化遺産の保護と普及に対する顕著な貢献により、「ドミートリイ・リハチョフ賞」を受賞しました。日本人としては初めての受賞です。

今回のコレギウムは受賞記念講演会として開催いたします。

【講演要旨】

中世ロシアの一見するとキリスト教的な文学作品やイコン・壁画を読み解きながら、ロシア人に固有な死後の世界の見方を明らかにするとともに、そのような世界観が現代のロシア人の生き方にどのような力をもっているかについても考えてみたい。

お問い合わせ 富山大学人系総務課(人文担当)
Tel 076-445-6131 Fax 076-445-6141